

1. 死亡秩序の近代化に関する若干の追加分析……………山本文夫(佐賀大学)
 2. 人口移動研究の動向……………黒田俊夫(人口問題研究所)
 3. 人口変動と世帯・家族構成の変化……………上田正夫(人口問題研究所)
 4. 世界人口の変動と日本の立場……………西野入徳(国土館大学)
- (上田正夫記)

日本家政学会第21回総会

日本家政学会第21回総会は、昭和44年10月3日(金)から5日(日)の3日間にわたり、東京の日本女子大学において開催され、本研究所から内野澄子技官(人口移動部移動科)が出席した。

第1日は、学会賞受賞者講演ならびに「関連諸科学からみた家政学」と題したシンポジウムが行なわれた。第2日と第3日において行なわれた一般報告は274題に上り、このうち人口に関連を持った報告をあげると次のとおりである。

- ファミリー・サイクルに対応する教育費……………伊藤秋子(お茶の水女子大学)
 - ファミリー・サイクルに対応する理論食料費……………新垣都代子(琉球大学)
 - 共稼ぎ主婦の生活構造……………岡村益(福島大学)
 - 我が国の婦人の職業上及び家族上の地位……………本田弘子(光華女子短期大学)
 - 人口移動と食生活の構造的変化—主食形態を中心として—……………内野澄子(人口問題研究所)
- (内野澄子記)

1969 日本地理学会秋季大会

1969 日本地理学会秋季大会は、昭和44年10月9(木)～12(日)の4日間にわたり仙台市宮城教育大学附属中学校で開催された。本研究所からは、伊藤達也技官(人口移動部移動科)が出席した。

研究発表は、研究委員会とシンポジウムに分けて行なわれた。研究委員会は、9日夜、都市地理学研究委員会、農業地理学研究委員会、計量地理学研究委員会(以上白萩荘)、地理学と教育研究委員会(宮城寮)と水文学研究委員会(翠風荘)の5会場に分かれて開かれた。

10日のシンポジウムは、「広域中心都市」,[東北日本の農業の変化]と「日本における気候地形」の3テーマであった。広域中心都市では、広域中心都市とは何か? それを表わす指標と内容に討論が集中したが、結論は得られず、今後の研究課題として残された。

11・12日は、エクスカーションで、四つのコースに分かれ東北各地に散っていった。

(伊藤達也記)

第23回日本人類学会日本民族学会連合大会

第23回日本人類学会日本民族学会連合大会(会長 須田昭義)は、京都大学霊長類研究所が開催引き受け機関となり、昭和44年11月12(水)～14(金)の3日間、愛知県犬山市名鉄犬山ホテルにおいて、近藤四郎大会委員長の下に開催された。人類学関係の研究発表は第1日午前午後および第2日午前にわたって行なわれ、民族学関係は第2日午後に行なわれ、第3日には2題のシンポジウムが開かれた。